

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-
		スーパー（販売企画）	・10月から消費税の引上げや軽減税率制度等が実施されるが、当社としては対応策として独自のポイント倍率セール等を予定しているので、やや良くなることに期待している。
		コンビニ（経営者）	・昼食で弁当を買う客が増えて、一緒にデザート類やファーストフードの売上も上昇している。
		百貨店（店舗企画）	・良くなる要素がなく、しばらく低迷が続くと予測している。
		スーパー（企画担当）	・増税による買い控えが一段落し、増税前の水準に戻ると考えられる。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は、前月からのセールの流れで始まったが、また新しい商品が入荷している。まだまだプロパーの商品が売れることがなく、売上が上がらない状態が続いている。来月に期待しているが、どうなるかはまだ分からず、景気はまだ予断を許さない状態だとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・10月に入っても暑い日は続き、悪くなることはないともみられる。
		その他専門店 [書籍]（店長）	・消費税増税がどれほど影響するか分からない。増税前の駆け込み需要がそれほどあるとは見込めない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月後の客室稼働率見込みも今月同様、前年を下回る見込みである。
		旅行代理店（マネージャー）	・連休は多くても、なかなか商談がまとまらないケースが多い。
		通信会社（サービス担当）	・10月より携帯業界も料金体系が大幅に変わる予想である。その状況によって大きく変わる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・工事受注は堅調であるが、現場職人が十分足りておらず、工期の遅れが懸念される。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅展示場への来場組数は3か月連続で減少しているが、建築コストが毎年増加していることから、契約受注は変わらず推移している。
		商店街（代表者）	・商店街では近年、靴屋等の物販業の閉店が数件出ている。後に入ってくるのは飲食業と推測される。既に小さい飲食店は相当多くなっており、低単価での競合による客の取り合いで大変厳しい状況下にあるようである。
		コンビニ（代表者）	・インバウンド客の減少が7月頃より目立ってきている。今後も客数減は十分に予測される。
		観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊者数は微増となるであろうが、更に競合が増えるので、厳しい状況になりそうである。特に9月の前年同月比予約状況が悪い。また、働き方改革の影響だと思うが、飲食部門において企業の懇親会が減っている。懇親会が残業になるとみられているので、開催に消極的である。
		通信会社（営業担当）	・9月に新型スマートフォンの発売があり一時的に盛り上がるが10月以降は新規キャリアの参入や解約金の減額などがあって競争が厳しくなり、キャリアを離れる客が増えると予想している。
	観光名所（職員）	・国内の災害が多いので影響が出そうである。	
	その他サービス [レンタカー]（営業）	・消費税増税に伴い、観光客の動きが弱くなると予測される。	
	x	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・10月の消費税増税での飲食消費の落ち込みに大変な危機感を覚えている。前回までは4月だったが、ただでさえ落ち込む10～11月の影響は計り知れない。また、レジ等の軽減税率の対応に追われている。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-
		建設業（経営者）	・具体的な相談に来る客が増えた。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・今後も横ばいの見通しである。
		輸送業（代表者）	・宮古、石垣はホテルや量販店等の民需や、港湾、道路等の官需も増勢で、特に宮古は陸上自衛隊の隊舎の建設工事に続き弾薬庫工事が発注される見込みで好調が続く。建設資材の砕石不足が懸念される。
		輸送業（経営企画室）	・緩やかに上昇するものとみられるが、昨今の国際情勢等を鑑みる限りでは、横ばいに推移するかとみられる。
	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促活動は、県外及び海外企業との競争激化や観光産業を中心とした先行き景気への不安などが影響して、拡大する可能性は低いと考えられる。	

	食料品製造業（総務）	・消費増税の実施や米中貿易摩擦、年金問題の話題等、消費を喚起する材料より将来不安の材料の方が大きくなり、消費を控え貯蓄に重きをおく行動傾向になりつつあるのではないかと。
	会計事務所（所長）	・消費増税の増税そのものによる負担に加え、軽減税率の煩雑さが経済環境に影響を与える。
	x	-
雇用 関連  (沖縄)	学校 [ 大学 ]（就職支援 担当）	・秋にかけて企業の新卒求人が再度活発化する。
	求人情報誌製作会社（営業 担当）	・前年同月でも新規求人数が減少していく。
	求人情報誌製作会社（編集 室）	・毎年、9月に積極的に募集を開始する企業が多くなる。毎年10～11月は一服感があり、求人件数が伸び悩む傾向にある。
	職業安定所（職員）	・韓国との関係が、観光関連に少なからず影響が出るとみられる。
	学校 [ 専門学校 ]（就職 担当）	・人材不足を解消するために新規求人は経験者優先で、新卒者にとって厳しい就職活動になりそうな気配である。
	x	-